

7/8/2004

To: Distribution
From: 峠 暢一
Subject: LC 推進室 / LC 担当者会議メモ 7/7 水曜日午後 5 時@3-7F

日付：7/7 水曜日
時刻：午後 5 時より
場所：3 号館 7F 会議室
出席：高崎、神谷、榎本、横谷、早野、山下、肥後、上野、宮本、大森
議題：

1. ITRP@Caltech、および今後の動向について（横谷、山下、峠）
 - (ア) 第五回会合：6/28-30、Caltech にて開催。
 - (イ) 出席者：Panel 委員全員を含め、総勢約 50 名。日本より：横谷、峠、山本（東北大）、山下（東大 ICEPP）。
 - (ウ) 資料 URL：http://www.ligo.caltech.edu/~donna/ITRP_mt5.htm。GLC/NLC から ITRP への追加説明+開発状況更新：<http://lcdev.kek.jp/ITRP/KEK/>。
 - (エ) これに先駆けて、ITRP 委員長より LC 建設・運転経費評価と技術選定勧告との関係について問い合わせ：応答は 6/24 ころ Email にて送付済み。
 - (オ) 初日 Agenda (Open Session) :
 - CLIC 状況、
 - Cold option updates (US および TESLA)、
 - Machine-Detector Interface 諸課題と Warm-Cold 選択の関係について報告。詳細は、添付の横谷・峠メモを参照。
 - おしなべて、口頭発表上とくに大きな新展開、新情報なし。
 - TESLA R1 積み残し項目（35MV/m グレード空洞による Cryomodule 試作）：2005-06 年に予定。
 - 米国 FNAL、JLab、ANL からの Cold Option への意欲表明は、「研究所での活動に資するところもあり、対応可能」というニュアンスが強い。「Cold LC のために当社は ができる、××をしたい」といった具体性に欠ける印象。
 - (カ) 二日目以降：Closed Session。ITRP からの 34 ケ条質問への応答レビューなど。Panel 委員のみの協議（Warm/Cold Expert も退去）であり、かつ委員の口が堅いため、議論の実況は分からない。
 - (キ) 次回：Pohang にて、8/11-13。Closed Session のみ。技術選定勧告合意を目指す。
2. 推進室ほかで対応の案件について（高崎）
 - (ア) 科研費特定領域：聴聞会が 6 月初めに東京にて開催。出席は戸塚、横谷、浦川。最終決定公示は 7/12 の週の予定。
 - (イ) LC 研究会米国訪問団：6 月半ばに米国主要研究所を歴訪。KEK から同行：浦川
 - (ウ) 推進室活動広報：推進室、担当者、推進委を越えた、幅広い読者向けの簡潔にして要を得た活動広報が必要。対応：山下。
 - (エ) GDI (Global Design Initiative) 関係
 - GDI Central Team ホスト立候補：5 月に M.Tigner から招請あり。6/25 付け

Email にて KEK 立候補の旨応答済み (添付資料)。

GDI/GDO にかんする Memorandum of Understanding (MoU) : 第ゼロ次ドラフト作成 M.Tigner、S.Ozaki、R.Rubinstein。6 月末にドラフトへの意見招請機構長まであり。応答について検討中。

- (オ) LC 関連の KEK 長期計画・方針 : 総合科学技術会議の文脈も考慮。LC 建設が on-shore、off-shore の場合について、具体的方針立案の必要あり。
- (カ) FALC 対応 : 7 月末に英国で開催。日本出席者 : 山内。
- (キ) CERN Council への KEK 申し入れ : 行動内容検討中。
- (ク) 推進委員会 : 近々に日程星取表配布。7/28-31 あたりに開催したい。

3. 加速器研究体制について

- (ア) X-バンドクライストロン開発責任 (榎本) : 6/28 付けで陳から福田に交代。
- (イ) LC 開発総括レビュー (峠) : ITRP@Caltech ほかのため中断中であつたが、再開。
GLCTA 加速管高電界試験 : 7/13 火曜日 10AM@3-7F
RF 立体回路 : 日程未定

4. LC 関係作業グループ間の活動連絡連携と打ち合わせメモ管理について

- (ア) GLC 活動カレンダー (宮本) : 素案作成した。これをベースに夏休み中にシステム完成を目指す。 <http://jlcsv3.kek.jp/schedule/index.php> 参照 (KEK zone)
- (イ) 打ち合わせメモ管理 (峠) :
打ち合わせメモファイルが全て一箇所のサーバで管理されてある必要は無い。が、全ての打ち合わせメモの在り処への URL は一括集約して、グループ全体が共有すべきである。
手始めに、LC 関係で加速器物理を問わず、そもそも今、どのグループはどのような打ち合わせを持ち、活動しているか、その情報を集めるべし。
担当者は添付 Excel WS に既知の打ち合わせ情報を記入のうえ峠まで返送願います。

5. SLAC 関係 (峠)

- (ア) SLAC-FNAL Collab Mtg (6/23-25) : http://www.slac.stanford.edu/grp/ara/structures_meeting/FNAL-SLAC-6-2004.html
- (イ) JFY2004 日米予算 : SLAC 側執行計画 (ようやく) 立案中の由。
- (ウ) ISG-12、US NLC Collab Meeting : 開催時期どうするかの課題あり。

6. 今後の大まかな流れ (と思われるもの)

- (ア) 8 月初め、半ば : KEK → FNAL、SLAC 少数訪問するか? FNAL/SLAC 加速管関係状況視察、NLCTA 状況視察、GLCTA 円形導波管関係協議など?
- (イ) 8 月 11-13 日 : ITRP@Pohang
- (ウ) 8 月 16-22 日 : ICHEP'04。Beijing。
- (エ) 9 月? : ISG / NLC Collab Meeting? (定例パタンに従えば、@US)
- (オ) 夏・秋 : GDI Central Team への対応。Regional Team 編成。
- (カ) 秋・冬 : GDI MoU 最終化、署名。

次回打ち合わせ日程 : 未定。

以上、